

(仮称)宇治市乳幼児教育・保育支援センターについて

目的

- 民間保育園・認定こども園、私立幼稚園、公立就学前施設(保育所・幼稚園)が施設類型を越えて 子どもたちの状況や課題を共有し、連携・協働して研究・研修を行うことで、教育・保育の質の向上及び人材育成を図るとともに、各施設間、家庭・地域との連携を推進し、子育てや家庭・地域の教育・保育力の確保・向上を支援する。
- 保幼小連携、療育施設等との連携を推進することにより、就学前施設で培った「力」を発揮できるよう支援し、子ども一人ひとりの特性に合わせた成長を促していく。

取組とねらい

乳幼児期の教育・保育から小学校教育へ「つながりを意識したカリキュラム」の共有化

架け橋期の子どもの育ちを見る視点を、すべての就学前施設・小学校で共有

特別な配慮を要する子どもへの切れ目ない支援につながる体制の構築

子どもの成長・発達に応じ「ちょっと気になる」場合に、療育施設等との連携した就学前施設への支援

育ちのビジョンを共有

子どもの「不安」を
「安心と意欲」に
親の「不安」を
「安心と期待」に

子どもの健やかな成長

(仮称)宇治市乳幼児教育・保育支援センター

施設類型を越えたネットワークの構築

(民間保育園・認定こども園、私立幼稚園、公立就学前施設、小学校、療育施設)

概要

保幼小連携

- 行事の連携など顔の見える関係づくり
- 育ちと学びをつなぐためのカリキュラムの連携
- 要配慮児の課題の共有

研究・研修

- 子どもたちの状況、課題に対応した研究、研修の企画・実施
- 施設類型を越えた研究・研修・交流の実施

発達・子育ての支援

- 要配慮児の課題の共有
- 園訪問支援
- 府の専門機関、医療機関等との連携

センターで取り組む3つの柱

施設類型を越えて、共に研究・研修し学び協働して取り組むことが、宇治市全体の乳幼児教育・保育の質の確保・向上につながる。